

Press Release



BASF、「CPhI ジャパン 2010(第9回 国際医薬品原料・中間体展)」 で医薬品のバリューチェーンに対する広範な製品群をアピール

- バイオアベイラビリティを高める新しい医薬品添加剤
- 風邪の症状緩和に高い実績を持つ有効成分
- 顧客のニーズに合わせたテイラーメイドの受託合成
- 中間体および無機化学品の幅広い製品ポートフォリオ
- 「CPhIジャパン2010」(2010年4月21日～23日): 東京ビッグサイト・ブース G-14で展示

BASFジャパン株式会社(港区、社長:成尾友良)は、4月21日(水)から23日(金)にかけて開催される「CPhI ジャパン2010(第9回 国際医薬品原料・中間体展)」において、有効成分や医薬品添加物、受託合成、中間体、無機化学品など、医薬品業界にむけた幅広い製品、サービスを展示、紹介します。

新しい医薬品添加剤

- 溶解性とバイオアベイラビリティ(医薬品の体への吸収率)を改善する Soluplus(ソルプラス)
- 速放性フィルム・コーティング剤の Kollicoat[®](コリコート)IR コーティング・システム

BASF が今回新規可溶化剤として紹介する Soluplus は、難溶性薬物の溶解性を改善し、その結果としてバイオアベイラビリティを高める革新的な医薬品添加

2010年4月8日

お問い合わせ:
BASF ジャパン株式会社
長田 奈津子 / 大倉 真紀
TEL: 03-3796-4864 / 4865
FAX: 03-3796-4111
natsuko.osada@basf.com
maki.okura@basf.com

「CphI ジャパン 2010」
(4月21日～23日)
東京ビッグサイト
ブース No. G-14に
BASF 製品出展

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21階
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>

剤で、溶融押出法などの革新的なプロセス技術にも適しています。Soluplus
の上市により、BASF の可溶化剤のポートフォリオはさらに拡充します。

Kollicoat® IRコーティング・システムは色調性が良く、溶解性やハンドリング性にも優れるという特長を持ち、水系で環境に優しいフィルム・コーティングを実現します。わずか7色の基本色から多彩な色が作れるため、求められる錠剤色を簡単に調製することができます。

顧客のニーズに合わせたテイラーメイドの受託合成

BASF では、ホスゲン、アジド化合物、極低温反応、高圧水添反応のほか、少量高活性化化合物の取扱いに注力しています。

ドイツ、フランス、スイスにマルチパーパスなリアクター(合計能力 600m³)を有し、cGMP(Current Good Manufacturing Practice)に準拠した 130 種類以上の合成法を駆使して製造された原薬、原薬中間体を顧客に提供しています。製薬会社様ごとの特別なニーズに合わせ、キロラボ単位の小規模生産から商業生産、そして初期臨床段階から上市まで、あるいはジェネリックの段階にいたるまで、医薬品のライフサイクル全域にわたって専門的なサポートを提供しています。近年の難溶性の薬物の増加に伴い、有機溶媒を用いた cGMP 下でのスプレードライを可能にするべく、2010 年 2 月に GEA Niro 社と提携を結びました。

新しい有効成分: 風邪の症状をやわらげる「フェニレフリン」

このほど、BASF の医薬品向け有効成分ポートフォリオに、風邪の症状にすばやく効果的に効く「フェニレフリン」が加わりました。BASF はカフェイン、イブプロフェン、プソイドエフェドリン、テオフィリンといった医薬物質の供給で世界をリードしているほか、さまざまな適応症に対するジェネリックな原体を提供しています。これらの製品すべては cGMP の厳格な要件に準拠しており、世界 6 個所の製造拠点で安定的に製造され、世界の顧客各社に提供されています。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21 階
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>

医薬品業界向けの広範な中間体ポートフォリオ

BASF では、ビルディング・ブロックや試薬、溶剤、保護基など、さまざまな医薬中間体で使用される製品を提供しています。ChiPros®(キプロス)ブランドでキラルアミン類、アルコール類、エポキシド類、酸類を提供しているほか、幅広い技術プラットフォームでお客様をサポートしています。

医薬品有効成分(API)の合成に用いる特殊試薬

BASF では、有機合成用試薬を中心にさまざまな無機化合物を提供しています。強塩基として用いられるアルコラート類や、高選択性を必要とする反応、また、クロスカップリング反応などに用いられる有機試薬やホウ素試薬などです。たとえば有機亜鉛ハロゲン試薬は、官能基の選択性がとても高いため、総体的な合成効率を高めることができ、複雑な構造の API を商業規模で生産することが可能となります。このほか、三フッ化ホウ素ガスやその錯体、ヒドロキシルアミン・フリーベースなども有機合成で幅広く使用されています。

BASF の医薬品業界向け製品についての詳しい情報は、www.pharma.basf.com をご覧ください(英語)。

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標榜する世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ラインは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品、石油・ガスと多岐にわたっています。BASFは信頼に応えるパートナー企業として、化学を通じあらゆる産業のお客様のさらなる成功を支援しています。また、高付加価値製品と高度なソリューションの提供により、気候保全やエネルギー効率の向上、栄養、交通・運搬環境の改善といった世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。2009年の売上は500億ユーロを上回り、従業員数は約10万5,000人です。BASFの詳しい情報は、www.basf.com(英語)をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21 階
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>

■日本のBASFについて

BASFは日本では1888年に事業を開始いたしました。国内では、BASF ジャパンと6社の関連会社で構成されています。事業活動は、化学品、プラスチック、機能性化学品、高機能製品、農業関連製品の5分野です。主要生産拠点は三重県四日市市(熱可塑性ポリウレタン、ポリマーディスパージョン)と、神奈川県茅ヶ崎市(コンクリート混和材、建設化学品)と横浜市戸塚区(塗料)です。「グレーター名古屋テクニカルセンター」(三重県四日市市)内には、製紙薬品、顔料、機能性ポリマー(ディスパージョン)、エンジニアリングプラスチック、および燃料電池向けの応用研究所があり、日本とアジア市場のお客様をサポートしています。尼崎研究開発センターでは、日本のお客様へのテクニカルサービスと、さらに先端技術産業のテクノロジーリーダーに近いという地理的利点を活かし、エレクトロニクス分野に特化した研究開発を行っています。特に「ディスプレイ」、「エナジーマネジメント」、「マイクロエレクトロニクス」の分野にフォーカスし、日本発のイノベーションで、グローバルな製品の開発を目指しています。2009年のBASFの日本での売上は1,570億円(12億ユーロ)、従業員数は1,600人です。BASF ジャパンの詳細情報は、www.japan.basf.com をご覧ください。

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒106-6121
東京都区六本木 6-10-1
六本木ヒルズ森タワー21階
TEL: 03-3796-4865
FAX: 03-3796-4111
<http://www.japan.basf.com>